

熊野高校・芸術類型・書道コースの生徒が、 恩賜賞・日本芸術院賞を受賞された書家の指導を受けます。

日本書道文化協会が、若い世代への伝統的な書道の普及を目的として開催している「会員書家派遣事業」において、書道の全国大会などで輝かしい成績を上げている熊野高校が派遣校に選ばれました。

書道コースの生徒を対象として、書家の牛窪 梧十氏に講演、実技披露、個別指導を行っていただきます。

- 1 日時 令和5年5月24日（水）12：30～15：00
- 2 場所 広島県立熊野高等学校 書道教室
(安芸郡熊野町川角五丁目9-1)
- 3 講師 うしくぼ ごじゅう
牛窪 梧十 先生
※ 令和3年第8回日展出品作「陆游詩」により、恩賜賞及び日本芸術院賞を受賞した。牛窪氏が書き続ける「金文」は、中国の殷周時代の青銅器の銘文の文字で、現在も発掘が続き研究が進められている。牛窪氏は、この漢字を現代の造形芸術として作品化しようと現在も追究を重ねている。
- 4 内容 12：30 開会行事
12：40 講演「篆書及び北魏の楷書の魅力について」
13：30 模範揮毫
14：10 生徒作品の講評会
14：55 閉会行事
- 5 受講者 広島県立熊野高等学校・芸術類型・書道コース生徒14名

◆ 熊野高校・芸術類型・書道コースについて

熊野高校は、昭和52年4月に開校した、県内で唯一、芸術類型を設置している高等学校です。

書道コースは昭和59年度からスタートし、専門性や創造性を高めるとともに、人として豊かに成長することを大きな目標として活動しています。展覧会等への出品にも積極的に取り組み、毎年多くの受賞者を輩出するなど、高い実績を誇っています。



過去の書家派遣事業の様子